

評価基準

No	評価項目	評価の視点	採点	係数	評価点
1	経営の安定度	・法人として安定した経営を行っているか。	10	×1	10
2	実施体制	・実施体制が明確か。 ・高い専門性を有している人材が関与できているか。	10	×1	10
3	業務実績	・温浴施設、健康増進施設、観光交流施設、公共施設等における現状分析、運営改善、収支改善、民間活用等に関する実績を有しているか。	10	×2	20
4	業務理解 ・調査分析方針	・「現状把握及び課題整理」について、本業務の目的及び施設概要を踏まえ、調査・分析の進め方が具体的かつ実現可能なものとなっているか。 ・「事業継続性及び収支改善方策の検討」について、現施設を活用した場合の事業継続性、収入向上、経費削減及び市財政負担の軽減に向けた調査・分析方法が具体的かつ実現可能なものとなっているか。	10	×2	20
5	提案内容 ・アクションプラン作成方針	・「運営改善策、民間運営手法及び有効活用方策の提案」について、比較検討の進め方及び提案の整理方針が具体的かつ実現可能なものとなっているか。 ・「制度上の留意点整理及びアクションプラン案の作成」について、制度上の留意点を踏まえた整理及びアクションプラン案の作成方針が具体的かつ実現可能なものとなっているか。	10	×2.5	25
6	地域理解 ・協働姿勢	・田中駅前立地の特性、東御市の観光資源、市民利用、地域交流機能を理解し、市と協働しながら業務を進める姿勢があるか。	10	×1	10
7	価格点	・価格提案書の額と上限金額を比較して安価であるか。	10	×0.5	5
合 計					100

評価項目ごと、評価の着眼点や配点をもとに、提案内容の優劣に応じて付与する点数の基準を定めるものとする。

(採点)

不十分	やや不十分	普通	やや優れている	優れている
1	3	5	7	10

1 提出された企画提案書等を本基準に基づいて評価し、各評価者の採点の合計点が最も高

い者を受注候補者とする。

- 2 価格点は、「価格評価点＝（5点）×最低価格÷当該参加者の価格」で算出する。端数が生じた場合は、小数点第2を四捨五入する。

※価格評価点の事例

（算出例）

A者：価格 1,600 千円（最低価格）

⇒ 価格評価点＝5 点

B者：価格 1,950 千円

⇒ 価格評価点＝5 点×（1,600 千円÷1,950 千円）＝4.1 点（小数点第2四捨五入）

- 3 評価点の満点は500点とする。（評価者1人あたりの点数100点×評価者5人）
- 4 各評価者の採点の合計点300点を最低基準点とし、それ以上の点数を得た者の中から受注候補者を特定する。
- 5 点数が同点になった場合は、次の方法により順位を決定する。
- （1）評価項目「業務理解・調査分析方針」及び「提案内容・アクションプラン作成方針」の合計点が高い者を上位とする。
- （2）前号も同点の場合は、評価項目「業務実績」の点数が高い者を上位とする。
- 6 評価者がヒアリング審査を欠席する場合には、代理者が対応し、代理者の出席が困難な場合には、書類審査をもって代える。
- 7 審査結果についての異議申し立ては受け付けない。